

## 平塚市地方卸売市場運営審議会議事録

平成18年8月7日 午前10時30分開会 出席委員10人

府川正明 後藤輝彦 行川一郎 丸山明子 酒井菊江 山田國夫 三壁誠司  
片倉栄一 土井博泰 長谷川芳久

みなと水産課長 過半数の委員の出席を確認し、開会を告げる。

審議に先立ち委員の交替を報告する。

辞任委員 湯川壽之助氏 6月21日付

新任委員 三壁誠司氏 6月22日付

本日委員委嘱式行うこと告げ、委嘱状は市長に代わり経済部長が交付すること告げる。

経済部長 三壁委員に委嘱状交付する。

三壁委員 委員就任のあいさつ

行川会長 審議会会長あいさつ

経済部長 市場開設者としてあいさつ

行川会長 議長となり、「議題1」平成17年度市場取扱状況の説明を開設者に求める。

みなと水産課長 資料に基づき説明する。昨年に比べ取扱高で2.6%の減、取扱金額で4.98%の減となったこと。ここ数年取扱金額が数%減ってきていること等説明。原因は商品価値の出る地物のシラスやアジ等の不漁と思われる。

会長 卸売り業者に市場の現況について説明を求める。

卸売業者 自己紹介及び第58期営業報告を行う。

今期は3,900万円の損失を出し、前期の7,400万円と合わせると当期末処理損失は1億1,300万円となっている。

前半は厚木魚市場と合併したため一時的に厚木の取扱の分が増えたこと、また地元水揚が前半は良かったことにより若干売り上げは伸びたが後半はシラス、アジ、カマス等の地元魚がほとんど獲れず売上が低迷した。

地場の魚が獲れないと小売りが売れない、また小売店は後継者不足で減ってきている。これも悪循環である。

今年2月から第59期に入っているが、5ヶ月目で1,900万円の赤字を出している。何とかこの状況を脱し健全な状況にしたい。そのため再建計画を立てた。主な柱は営業計画と人員削減計画である。

営業計画では売上増加、収益増加を目指す。社員にはとくに

かく店へ行け、一日一回は店へ行くように言っている。今までは月1回の決算が出ないと収益が分からなかった。今は毎日手書きのその日の収益を見ている。売掛人や未払人にも催促して代金回収に努めている。おかげで少しずつ効果は上がってきている。

人員削減では3人削減計画を立てた。今夏のボーナスは全社員カット、今まで役員は30%~10%の給料カットをしてきたが、8月から全社員対象に給料のカットを行う。現在1月300万円の赤字を1月400万円の黒字にしたい。そうしなければ当期末処理損失1億1,300万円が処理できない。銀行も貸してくれなくなってしまう。

7月から氷の価格も上げた。シラス加工場も赤字なので閉鎖の予定である。しかし、ここにきてシラスも獲れてきた。

今のところはトンネルを少し出てきたという感じだ。

頑張りますので、見守っていただきたい。

会 長  
委 員

開設者及び卸売業者からの報告について審議を求める。

加えタバコで作業している者がいる。吸殻や空コップを平気で場内に捨てる者もいる。何とかしたい。開設者の意見は。

事 務 局

食品の品質管理についてはより高度さを求められている。昨年の市場条例改正により品質管理の責任者を定め、品質を高度に保つことが義務付けされた。改善していきたい。

みなと水産課長

市のさわやか条例でもタバコや空き缶のポイ捨ては禁止されている。品質管理の徹底を図りたい。

委 員

買受人や関係者がタバコを吸っていてもお客さんなので注意しにくい。

委 員

我々買受人も場内での歩きタバコ禁止や吸殻ポイ捨て禁止等に協力する。

委 員

市側からも働きかけを強めたほうがいい。

委 員

昔は休憩室があった。休憩室があればタバコや飲み物をそこでとることができる。

委 員

個人のモラルの問題です。食品を扱う場所なのだからという意識が必要です。喫煙所をどこかに設けてそこで喫煙するよう徹底すればよい。お客さんだからと注意できない事はないと思う。モラルの問題です。

会 長  
委員全員

「議題1」について意見質問はないか。了承とするか。  
了承。

会 長 「議題1」平成17年度取扱状況は承認された。

「議題2」その他について何かあるか。

みなと水産課長 報告事項が1件あること。会社法の施行により本市市場条例の一部改正案を9月議会に諮りたい。内容は条文にある「資本」という語句を「資本金」に改正する軽微なものである。

会 長 他にないか。なければ「議題2」について了承する。

委員全員 なし。

会 長 「議題1」及び「議題2」は了承された。

本日の審議会はこれで終了する。